



# 高山村における『むらの中心地づくり』の推進 ～一人一人が次世代を想い 100年先も住みたい持続可能な村に～

高山村 地域振興課

## ■ 背景

平成26年3月に県内28番目となる道の駅「中山盆地」が、既存日帰り温泉施設「高山温泉ふれあいプラザ」周辺を整備しオープンしました。

村では交通の便に恵まれた立地、農山村としての原風景を最大限に生かすべく地域活性化策の中核施設として「道の駅」を計画し、新たな拠点施設に位置づけ、都市との交流、観光情報発信や地域住民の避難場所としての活用を推進することとし、道の駅周辺を「むらの中心地」と称し、「むらの中心地づくり基本計画」を策定しました。そして、基本計画に基づき平成28年度より、都市再生整備計画事業を活用し、施設整備に着手しました。



道の駅「中山盆地」

## ■ 整備概要

- ① 高山ふれあいパーク整備(地域生活基盤施設)平成28～29年度
- ② (仮称)高山観光交流館整備(高次都市施設)平成30年度～令和3年度  
現在、令和4年度のオープンを目指し、整備中です。



高山ふれあいパーク

## ■ 高山ふれあいパーク整備

整備検討委員会において視察・検討を重ね、設置遊具・設備等を選定し、平成28年度は開発造成事業、平成29年度においては大型複合遊具・児童遊具・健康遊具等整備し、子どものみならず、大人も楽しめる憩いの場としての公園整備を実施しました。

## ■ (仮称)高山観光交流館オープンに向けての想い

ハード事業の実施に併せ、運営面を検討するため高山村の未来を担う世代で構成された「リーディングプロジェクト」を結成し、「むらの中心地」のコンセプトとして「一人一人が次世代を想い 100年先も住みたい持続可能な村に」を設定、「(仮称)高山観光交流館」のコンセプトを「たからのやま たかやま」に設定しました。



(仮称)高山観光交流館

リーディングプロジェクトでは高山村が抱えている課題を洗い出し、村内外に高山村の良さをアピールすると共に、中心地のコンセプトを体現化するための公共施設として、高山村の主要産業である「農業」と里山での「暮らし」「遊び」を基軸として、

- ① 日々の暮らしの質的な向上
- ② 地域の未来を描く新たな産業の創出
- ③ 村外の人達との良好な関係づくり

を目指します。

令和4年度の(仮称)高山観光交流館のオープン・高山村リブランディングの推進にご期待下さい。皆様のご来村心よりお待ちしております。